



# 器具事業 事業戦略

2012年5月17日

富士電機機器制御株式会社

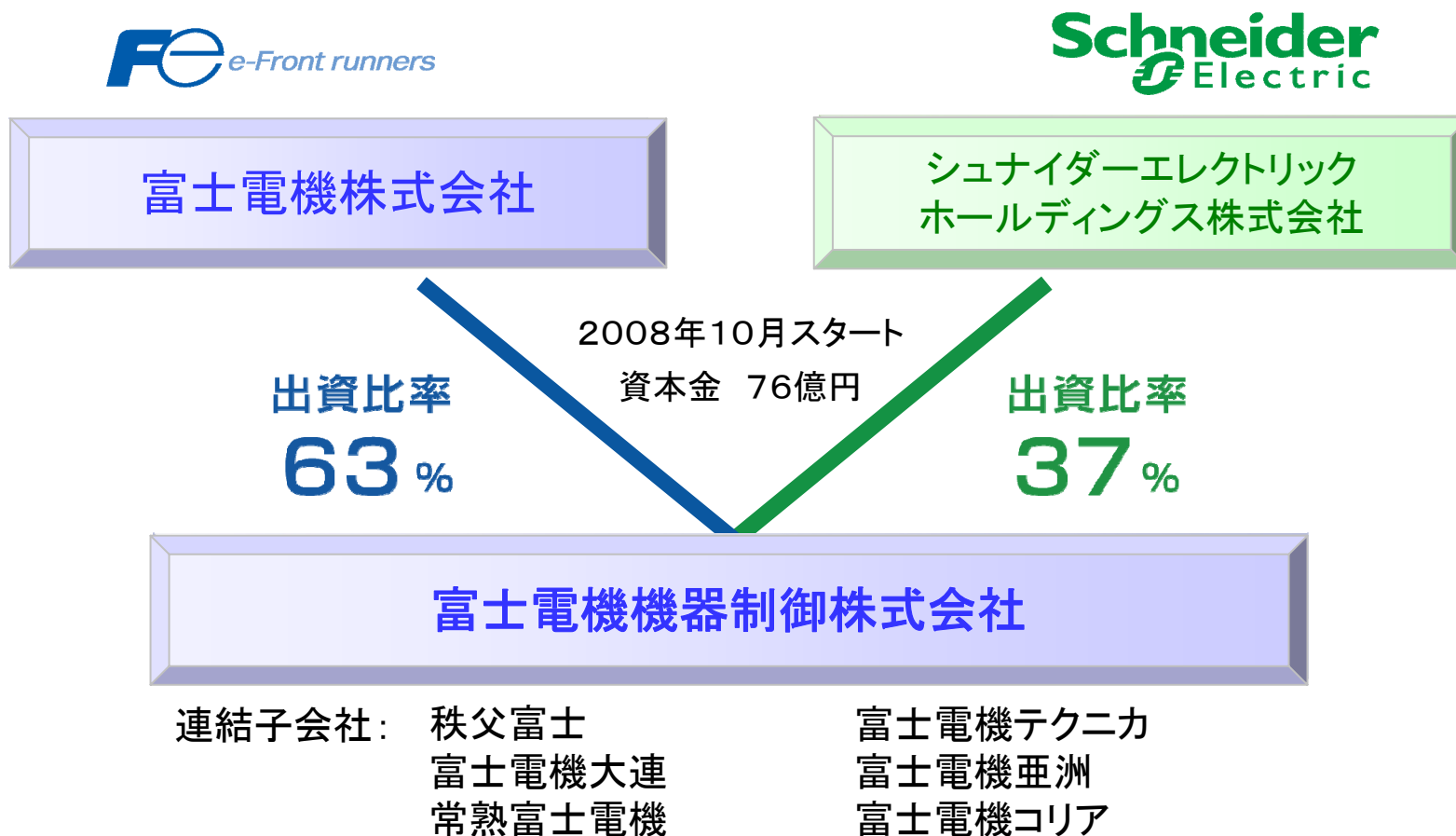
- 事業概要
- 事業計画
- 事業戦略・重点施策

# 事業概要

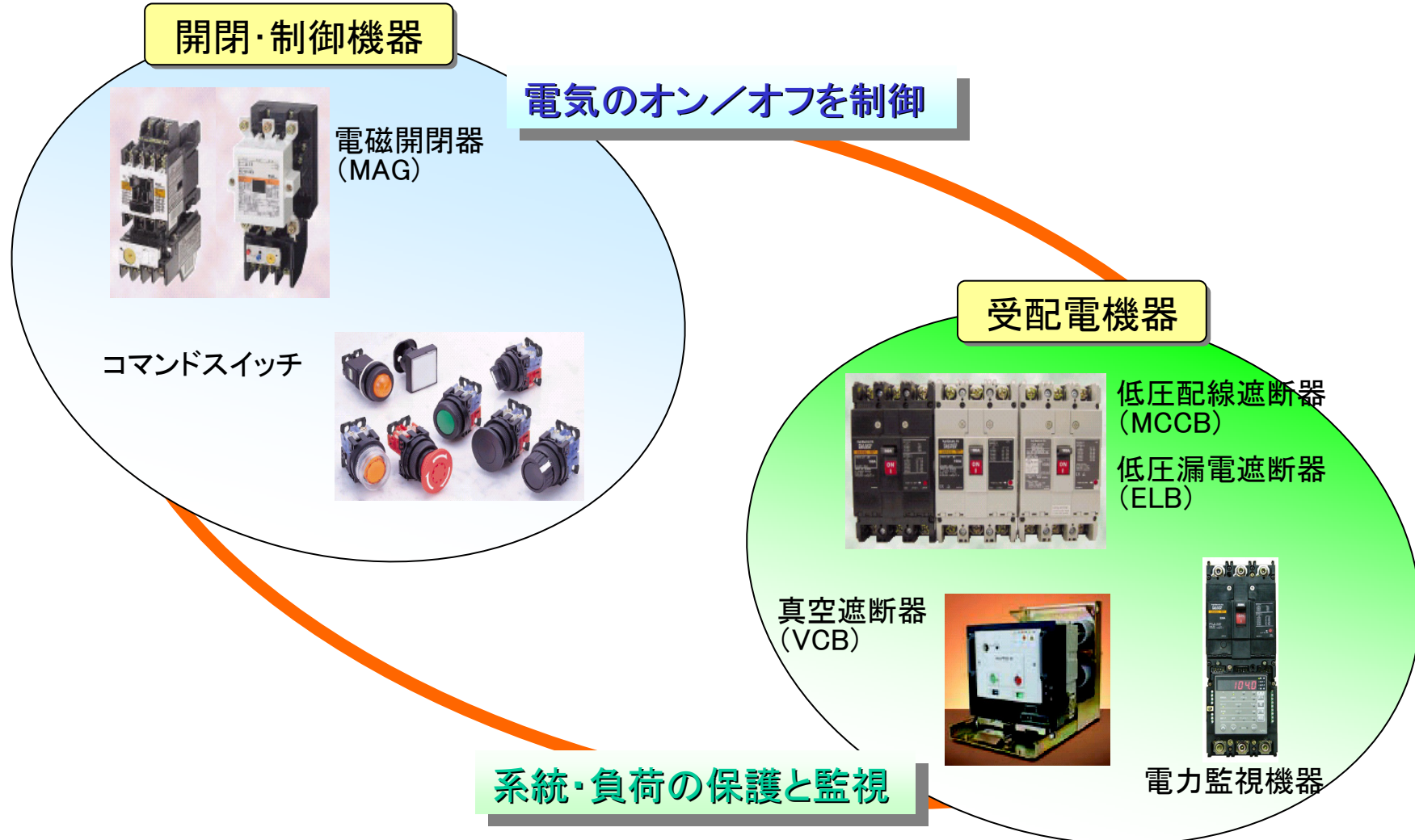


## 富士電機機器制御の概要

富士電機の器具事業部門と、器具分野におけるグローバルトップメーカーである仏シュナイダー社の日本での器具事業を統合



## 電気を自在に操るパワーエレクトロニクス其主要コンポーネント



# 事業計画

- ◆ 中期的には以下の市場成長率を見込む

	想定成長率
ASEAN 6	+5～6%程度
中国	+8%程度
韓国・台湾	+2～3%程度
日本	+2%程度

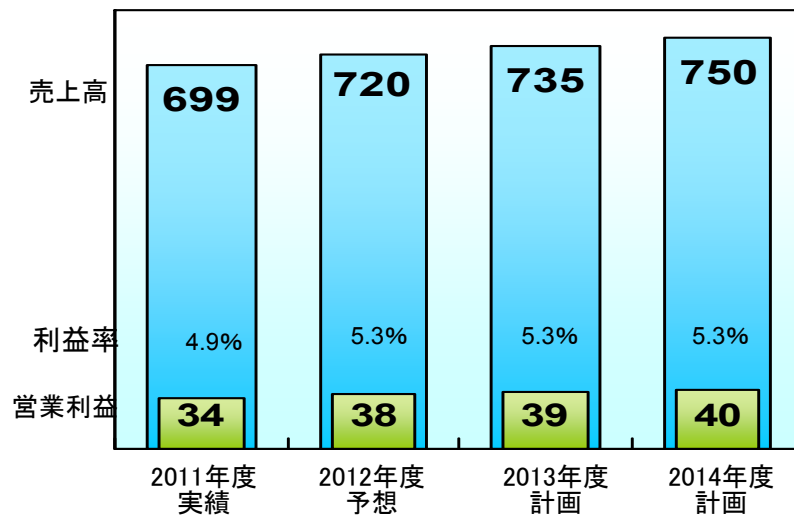
(出典) Frost & Sullivan 2009(海外)、JEMA/NECA統計(日本)より当社推定

- ◆ ユーロ債務危機による欧米市場の停滞のために、中国や韓国・台湾の本格的な回復は12年度後半以降と見る
- ◆ 同様にASEANなど新興国市場も、上記の想定よりはリスクを見込む
- ◆ 日本は、再生可能エネルギー分野での投資は見込めるものの、セクターの海外シフトも進展しており、全体としては高い成長率は見込まない

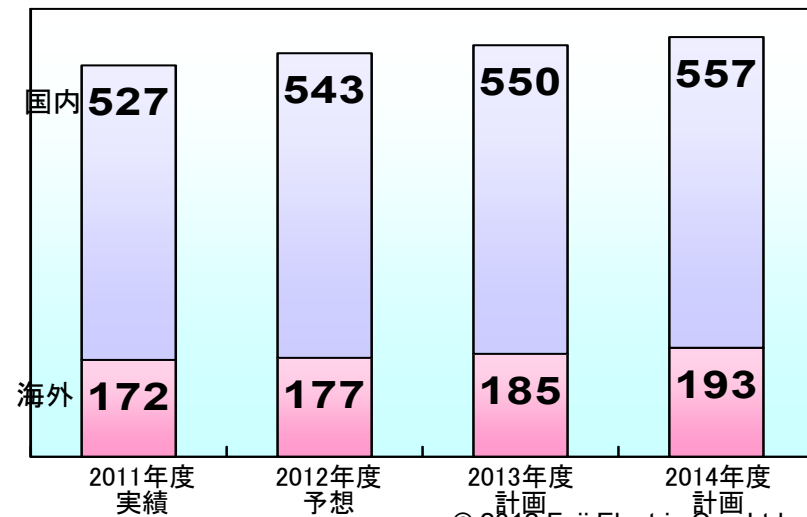
## 基本方針

- 積極的な設備投資により事業基盤を強化し、競争力を高める
- サプライチェーンの最適化により、サービスを向上させる
- シュナイダーとの共同開発プロジェクトを進める

売上高・営業利益(億円)

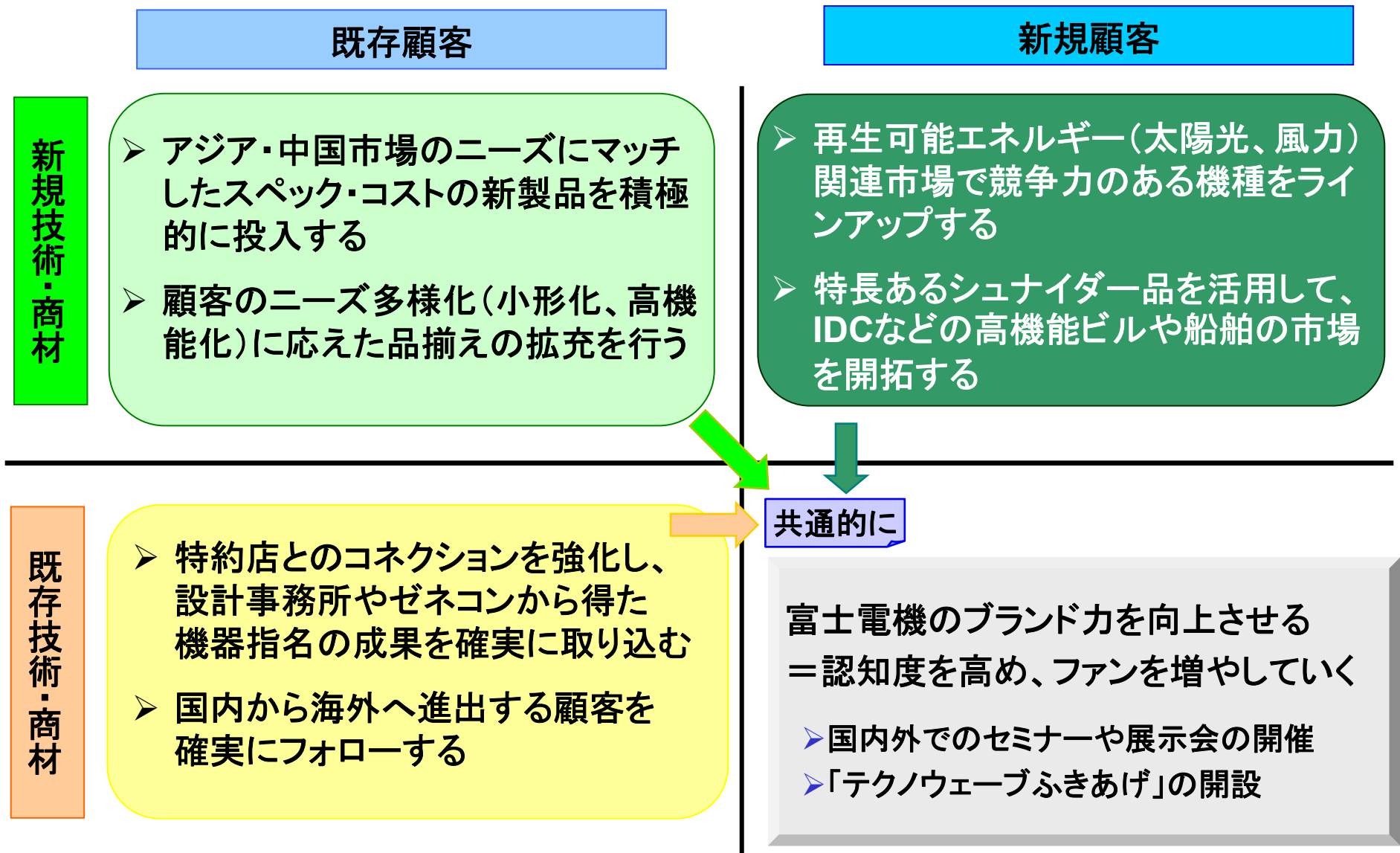


国内・海外別売上高(億円)





# 2012年度 事業戦略・重点施策



(セットメーカー市場向け)

ミニコンタクタ・サーマルリレー



経済型コンタクタ



小形ブレーカ



(ビル市場向け)

プラグイン75mm/30mm  
ピッチMCCB・ELCB



MCCB  
・可調整式  
・高遮断



(高機能ビル、船舶、再生可能エネルギー市場向け)

バスダクト



監視カメラ



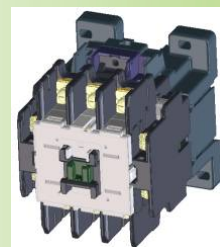
22kv特高機器



コンパ外NSX直流  
MCCB(DC1000V対応品)



直流電磁接触器



1. 本資料は法律に基づく監査手続の対象外であり、本説明会の時点において、法律に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。
2. 本資料および本説明会に含まれる予想値および将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性および事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社は、将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。
3. 本資料は、情報の提供を目的とするものであり、弊社の株式の売買を勧誘するものではありません。
4. 目的を問わず、本資料を無断で引用または複製することを禁じます。